

		EZ-WIN総合評価シート			23.11.5 (日) 京都11R G3みやこS ダ1800m 3歳上別定 15:45																			
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	負担重量	予想人気	相対指数	血統×脚質	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	スパイス血統	マイニング	M対戦型
13	59	○	1	1	栗)アスクドゥラメンテ	牡4	57	4	A	血	C+	A	4,2	2,3	3,2	24	70	18	西村淳	藤原英		sp	10	4
72	13		1	2	栗)アルーブルト	牡5	57	14	B				6,7	6,12	7,6	0	45	2	秋山真	畑端省			15	15
3	56	△	2	3	栗)タイセイドレフォン	牡4	57	3	A				4,7	3,5	5,2	33	288	18	団野大	西村真		sp	12	5
5	17		2	4	栗)サンライズホープ	牡6	57	10			D		2,11	地方	7,14	21	82	8	和田竜	羽月友	展		9	13
5	24		3	5	栗)ゲンパチルシファー	牡7	57	13					13,8	10,3	12,5	7	127	2	松若風	佐々木	R	sp	14	11
12	22		3	6	栗)ブリッツファング	牡4	57	12		△	B		8,16	11,1	4,13	7	127	2	藤岡康	大久保	R		16	16
3	59	★	4	7	栗)メイクアリーブ	牡4	57	5	A	血			1,8	4,3	4,2	36	122	18	幸英明	大根田	展	血	4	3
3	24	注	4	8	栗)マリオロード	牡4	57	11	C	△			10,1	7,11	2,8	17	248	17	酒井学	安達昭			11	9
13	50	◎	5	9	美)ワールドタキオン	牡5	57	6	A	注		A	2,3	4,7	3,1	20	202	11	斎藤新	斎藤誠	R		5	7
5	42		5	10	美)ホウオウルレット	牡4	57	7	B				11,1	9,3	10,11	50	435	17	横山和	栗田徹			6	8
8	20		6	11	栗)メイショウカズサ	牡6	57	15		注			7,4	11,13	2,11	0	0	2	古川吉	安達昭		sp	13	14
13	38	△	6	12	栗)ペプチドナイル	牡5	57	9	A	注	▲		3,12	1,1	1,2	10	98	11	富田暁	武英智	展		3	12
3	12		7	13	栗)エナハツホ	牡4	55	16			C		11,4	地方	9,10	0	0	0	藤懸貴	吉田直		sp	7	10
7	52		7	14	栗)ウィリアムパローズ	牡5	57	2	A		D	A	1,6	2,5	1,3	40	146	18	坂井瑠	上村洋			1	1
7	53	▲	8	15	栗)セラフィックコール	牡3	55	1	A	血			14,1	8,1	10,1	50	70	57	M. デ	寺島良			2	2
22	30	△	8	16	美)アイオライト	牡6	57	8	A				地方	3,3	5,10	33	130	11	横山典	武藤			8	6

【上位人気馬が脆いレース】

京都開催の過去5回で、馬券に絡んだ1人気は1頭のみ。
2人気も2頭、3人気も1頭のみで、1～3人気の馬券絡みは4頭。

一方で、6人気以下は8頭が馬券になっており、
ダート1800mの重賞としては、珍しい「中波乱レース」

【脚質傾向】

京都ダ1800mのコース傾向通りの脚質傾向のレース。

京都で行われた過去5回のG3みやこSでは、
3着以内馬15頭全てが、上り4位以内の末脚を使っており、
先行力だけで人気になる馬は危険な人気馬と考えても良さそう。

今年はウィリアムバローズが危険な人気馬となりそうですな。

【前走傾向】

「前走距離」

前走が1900m以上だった馬が7頭(距離短縮)
前走も1800mだった馬が5頭(同距離)
前走が1700m以下だった馬が3頭(距離延長)

そして、前走での上り3Fタイム順位が下位だった馬で
馬券に絡んだのは「距離短縮ローテ」だった馬の2頭のみ。

他の12頭は、全て前走上り順位が4位以内でございました。
(1頭は前走が地方交流G1のため上り順位不明)

「前走人気と前走着順」
馬券に絡んだ15頭全てが、
前走で5人気以内であったか、5着以内だった馬。

前走で下位人気に評価され、
着順も評価通りだった馬は、割引対象と考えられます。

【血統傾向】

過去5回の京都開催で馬券に絡んだ
Dサンデー系以外のサンデー系種牡馬産駒は2頭で、
どちらも、4L系統内に2ラインの米国型血統を持っておりました。

また、父がDサンデー系の場合も、
母父に大系統ミスプロ系を持っていました。

今年は3頭のサンデー系種牡馬産駒が出ておりますが、
3頭とも母父が大系統ミスプロ系ではなく、米国型でもありません。

スパイス血統としては、
・ヴァイスリージェント系
・ダンチヒ系

特注血統は
ヴァイスリージェントを保持するAPインディ系の
種牡馬を父に持ち母系にダンチヒの血を持つ配合。

今年は1頭だけですが、特注血統馬が出走致します。

【馬格】

四捨五入して490キロ以上の馬格を持つ馬が
3着以内馬15頭中11頭を占める「馬格」も大切なレース。

【予想見解】

◎9番ワールドタキオン

父:アジアエクスプレス(米ストームバード系)

母父:欧ニジンスキー系

祖母父:アフリート(米ミスプロ系)

京都ダ1800mでは、上り3位以内の末脚を使えるタイプの
ストームバード系産駒は、勝率30% 単回率246%
複勝率70% 複回率191%

500キロ以上の大型馬であり、
コース・馬場状態・距離不問で結果を出しており、
関西圏への輸送以外に大きな不安材料はありません。

○1番アスクドゥラメンテ

父:ドゥラメンテ

母父:米ミスプロ系／ゴーンウエスト系

この配合は非常に高いダート適性を見せる
ダート中距離のニックス配合といえる血統です。

メンバー上位の上りを使えるキングマンボ系産駒は

当コースの複勝率60.7% 複回率130%

今のところ、ドゥラメンテ産駒で
ダート1800m重賞好走馬は出ておりませんが、
このニックス配合馬がダ1800重賞に出るのはこれが初めて。

通用するようなら圧勝があっても驚きません。

★7番メイクアリース

父:シニスターミニスター(APインディ系)

父母父:米ヴァイスリージェント系

母父:スペシャルウィーク(Tサンデー系)

祖母父:ダンチヒ系

京都開催の「特注血統」該当馬。

半兄ヴェンジェンス(父カジノドライブ)は19年の優勝馬。

前走は休み明けでイレコミが激しく
全く制御が利かなかったと、幸Jはコメントしておりました。

普通の精神状態で出走出来れば、
馬券に絡むであろうと考えております。

注8番マリオロード

キタサンブラック産駒はダート1800mでは
ドゥラメンテ×ミスプロ系配合馬と双璧の新種牡馬。

また、Tサンデー系と欧サドラーズ系の配合は、
コース複勝率32.1%/複回率198%の穴配合。
さらに、メンバー上位の末脚を使えると
複勝率78.6%/複回率600%の激穴配合でございます。

重賞メンバーでも普段の末脚が使えれば脅威の存在。

頑張れ！マリオ！

【馬券】

EZ-WIN 推奨馬券
馬連・3連複3頭ボックス
1番・3番・7番

くまもん馬券
ワイド 7-1・8・9

ワイド 8-1・9・15

馬連 9-印全頭

3連複 9-印全頭